

4月とは思えないほど暑い日が続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。
 新年度が始まり、小児科医局では新しい先生方をお迎えしました。にぎやかな雰囲気の中、私たちも新たな気持ちで日々の診療に向き合っています。
 新しい環境で、まだ慣れないことも多い時期かと思いますが、ゆっくり自分のペースで歩んでいけたらいいですね。
 さて、今回の小児科通信では、医局の行事、医局員の先生方の学会参加予定に加え、3年目の先生方の挨拶文を掲載しています。ぜひ、ご覧になってください。

～3月・4月の医局行事報告

★小児科大送別会

昨年度で医局を離れられた本田裕子先生、福田智文先生を送別する会が、「アートクレフ」で開催されました。医局員の先生方のビデオメッセージや若手の先生方の全力の芸出しなど、笑い(?)あふれる温かい送別会となりました。名残惜しくはありますが、医局員一同、お二人の先生方の更なるご活躍をお祈り申し上げます。



★循環器グループのセミナー

循環器グループから「産婦人科医・循環器内科医・小児科医が成人先天性心疾患の妊婦の診療に携わったら・・・何か注意する？」というテーマでセミナーが行われました。成人先天性心疾患妊婦の妊娠・出産を臨むにあたり重要な妊娠前のリスク評価や疾患別の妊娠出産における注意点について、知識を深めることができました。

★東京大学小児科 加藤元博教授のご講演

「Physician scientist による研究のすゝめ」

加藤元博先生は、小児がん、特に血液腫瘍や造血細胞移植、ゲノム医療の分野を専門とされている先生です。小児急性リンパ性白血病の治療法に関する臨床研究を主導され、また新しいゲノム解析手法を開発し、小児白血病のゲノム異常を迅速かつ網羅的に検出する技術を確立された、研究面においてもご活躍されています。今回、加藤先生より、臨床医である我々に研究のおもしろさや必要性、研究をしたいと思った時の具体的な行動の方法などを、わかりやすくご講演いただきました。

4月18日-20日 第128回日本小児科学会学術集会

ポートメッセ名古屋で開催されました。次回、学会の様子をご報告します。

～4月・5月の医局内イベント～

学生さんの中には、小児科通信を読んで学会参加してくれた方もいらっしゃいます！興味のある方は、ご連絡をお待ちしております★

- 小児科医局歓迎会
- 感染・免疫グループセミナー「小児結核診療とBCGワクチンの現状」
- 神経グループのクリニカルカンファレンス
- 血友病センター担当のセミナー

★クリニカルカンファレンスとセミナーはZoom参加出来ます。参加してみたい方は、守田(h-rita@med.uoeh-u.ac.jp)までご連絡ください。

～5月開催予定の学会～

5月は主要な学会の参加はありません。

～論文掲載情報～

1. S. Watanabe, N. Ohama, S. Suga, E. Kondo, T. Hoshina, K. Yoshino. A neonate with upper cervical spinal cord injury as a previously unrecognized complication of vacuum-assisted delivery and uterine fundal pressure. Journal of Neonatal-Perinatal Medicine. In press.

～新医局員の紹介～



40 期の佐藤峰輝です。千葉県出身です。大学の頃は腫瘍治療に惹かれ、特に血液腫瘍への興味がありました。研修医時代の実臨床においては精神科ローテの際に病態の複雑さや、適切な介入で若年患者の予後は良好であることを学び、精神医学のやりがいと興味が芽生えました。

研修医終盤にどの専門へ進むか悩みましたが、医師を志したきっかけであるこどもに寄り添う仕事がしたいという原点に立ち返り、小児科医への道を選択しました。最終的な専門が決まるまで先生方にご迷惑をかけることも多々あるかと思いますが、これから医局の一員として精一杯励んでいく所存でございます。よろしくお願いいたします。

医師 3 年目、小児科医 1 年目の山口結希です。産業医科大学出身で、卒業後は北九州総合病院で初期研修を行いました。初期研修の期間に、産医大小児科の多くの先生と関わることができ、比較的緊張せずに 3 年目を迎えることができました。A 班→B 班→NICU の順に回ることとなっており、現在 A 班で優しく楽しい先生方からたくさん勉強させていただいております。まだわからないことがほとんどですが、できるだけ色々なことを経験し勉強したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

3 年目の徳永希望です。出身は福岡県で、研修は山口県の徳山中央病院でした。当初は別の科に進んでいましたが、小児科研修の際に入院した子供達が元気いっぱいになっていく姿を見て、小児科医として子供達の健康に携わりたいと思い、小児科への入局を決めました。今は経験も浅く、先輩医師の先生方にご迷惑をおかけすることばかりですが、小児科医として子供たちの元気を守れるように日々精進していきたいと思っております。これからよろしくお願いいたします！

はじめまして。この春から小児科に入局いたしました、藤本菜生と申します。まだまだ経験も浅く、学ぶべきことばかりの毎日ですが、子どもたちの笑顔のために、そして未来を担う彼らの力になれるよう、日々精進してまいりたいと考えております。一日も早く戦力となれるよう、知識・技術の習得に励みますので、先輩の先生方には、これから多くのご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

未熟者ではございますが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。